

第131回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成24年第3四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成24年6月25日～平成24年9月30日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は273件（前回報告225件、前年同時期265件）
そのうち男性259件、女性14件で、男性は前回（215件）及び前年同時期（251件）より増加、女性は前回（10件）より増加、前年同時期（14件）と同数
3. 新規AIDS患者報告数は111件（前回報告115件、前年同時期108件）
そのうち男性104件、女性7件で、男性は前回（105件）及び前年同時期（105件）より減少、女性は前回（10件）より減少、前年同時期（3件）より増加
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は384件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが205件（全HIV感染者報告数の約75%）
 - 異性間性的接触によるものが46件（全HIV感染者報告数の約17%）
そのうち男性35件、女性11件
 - 静注薬物によるものは1件
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが54件（全AIDS患者報告数の約49%）
 - 異性間性的接触によるものが32件（全AIDS患者報告数の約29%）
そのうち男性29件、女性3件
 - 静注薬物によるものは2件
 - 年齢別では、40歳以上が65%であった。

【検査・相談件数の概況（平成24年7月～9月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は24,491件（前回報告25,930件、前年同時期24,813件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は6,924件（前回報告7,336件、前年同時期6,544件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は37,015件（前回報告39,418件、前年同時期40,886件）

HIV抗体検査件数はほぼ横ばいであり、相談件数は前回及び前年同時期に比し減少傾向であった。

【献血の概況（平成24年1月～9月）】

1. 献血件数（速報値）は、3,942,718件（前年同時期速報値3,936,332件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は56件（前年同時期速報値70件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.420件（前年同時期速報値1.778件）

《まとめ》

1. AIDS患者数はほぼ横ばいであるが、HIV感染者数は前回より増加している
2. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。
3. 社会におけるHIV/エイズへの関心が希薄になっている。12月1日は世界エイズデーであり、厚生労働省や自治体等において、「“AIDS” goes on...～エイズは続いている～」をテーマに、世界エイズデーに合わせたキャンペーンが予定されている。国民の皆様にはこの機会を通じて、HIV/エイズに関心をもっていただきたい。